

あきる野市議会

会報 vol.4

議員紹介

志清会だより



— あきる野の未来に責任を持ち、市民と協働して歩む —

※ 志清会は、あきる野市議会で志を同じくする7名の議員による政策グループです。



秋田県庁で排出量取引について意見交換するメンバー

地域力を生かした活動拠点づくりも



秋田市の市民センター「ウエスター」

先進都市、秋田を視察

志清会では「環境都市あきる野」の推進に向け、二酸化炭素の排出量取引やCSR（企業の社会的責任）による森づくりについて研究しようと、先進都市秋田を訪れました。

排出量取引&企業の森づくり

6月定例会で早速、提案！

研究・視察成果を即、市政へ反映！

秋田県では「カーボン・オフセット」に向けた県内議論を喚起しようと、昨年5月に「カーボンオフセット講演会」を開催。一方、今春策定した「ふるさと秋田元気創造プラン」では、森林政策として「低炭素社会への貢献による林業・木材産業の新たな価値の形成」を掲げ、これに関連して「オフセット・クレジット制度」への研究や取り組みを本格化。クレジットの販売収入は「一般財源化」されます。また、県は「企業による水と緑の森づくり」にも積極的に今年2月には県内の企業に対するセミナーも開催。志清会では今回の視察成果をもとに、6月定例会で早速、このテーマを取り上げました。



視察先の秋田県で

※カーボン・オフセット：どうしても削減できない温室効果ガスについて、排出量に見合ったガスの削減活動に投資することなどにより、削減できないガスの排出量を埋め合わせる考え方。

※オフセット・クレジット制度：国内の排出削減活動や森林整備によって生じた排出削減・吸収量を認証する制度。クレジットは販売できる。

6月定例会の「一般質問」で取り上げました！ ※一般質問の報告は裏面にもあります。

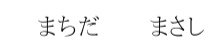


たのくら よしお 田野倉 由男 議員 排出量取引

(1) 地球温暖化、カーボン・オフセット、オフセット・クレジット、LEDについて

主な答弁

(1) カーボン・オフセットやオフセット・クレジットについて、今後、市として取り組む意義や効果を検証・研究していく。省エネの推進へLEDの導入を段階的に進める。



まちだ まさし 町田 匡志 議員 企業の森・多摩産材

(1) サントリー天然水の森の概要は  
(2) 市営住宅の建て替えに多摩産材を

主な答弁

(1) 森林整備計画を策定し、間伐や枝打ち、植生回復などを行い、30年後に市へ返還される。(2) 環境都市あきる野にふさわしい建物にするというのが、今回のコンセプトの基本を貫く理念。今後、具体的なコンセプトづくりを行う。

公共施設に多摩産材を！

あきる野市は森林資源に恵まれ、「多摩産材」と呼ばれる良質の木材が産出されています。志清会では、多摩産材の活用や販路拡大はあきる野市の地域経済や地場産業の活性化に不可欠と考え、公共施設の木造化や内装への地場産材の活用について研究。講師を招いて勉強会を開いたり、セミナーに参加するなど情報収集を進め、市にも活用方法について積極的に提案しています。また、森林資源を有効活用することは環境面からも重要であり、国レベルでは今年、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が成立しています。

※ 一般質問の詳細は、議会ホームページまたは議会だより(8/1号)をご覧ください。

ほりえ たけし

大館市の視察先で



こごもり としひと

有地情報をリスト化し、市のホームページ上で常時提供できるようにする。(2) 全体的なバランスの中で見直しを検討する。(3) 新しい推進計画は平成24年度からの3年間。改定へ今後、市民アンケートを実施。還暦式のような社会参画を促す施策を検討。



うらの しんじ

(1) 市は補助金等により安全協会員の活動支援を行っており、今後、立哨(りっしょう)を共同で実施する方法を検討したい。(2) 現在施工している代田橋の架け替え工事に引き続き、代田橋から鯉川の合流点までの河川整備を行う。

おかの えつし



元気にスポレク!



菅生歌舞伎の  
絵本太功記十段目